

## 第3回 恵那南地区中学校再編委員会 会議録

- ・日時 平成27年7月28日(火) 19:30～
- ・会場 岩村振興事務所 大会議室
- ・出席者 小中学校代表 春日井尚武、小板忠昭  
こども園代表 千藤まゆみ  
地域自治区代表 山本純、西尾公男、黄地尚幸、阿部道長、堀真人  
安藤良一、安藤仁志、川上貞夫、大島将官  
中学校PTA代表 伊藤昌治、松下雅昭、成瀬浩司、横光基  
小学校PTA代表 加藤信之、渡邊大剛、川上渡、高井良三  
こども園保護者会代表 小木曾耕司、伊藤寛隆、堀雄二、川上翔  
恵那南地区中学校あり方検討委員会委員 鈴木峰夫、中垣貞好  
総合計画審議会代表 西村貢  
行財政改革審議会代表 柘植麻美  
振興事務所長 西尾茂文、後藤光男、勝川甲子、三宅勝彦、熊谷浩  
教育委員会 大畑雅幸  
事務局 門野幸次朗、岡田庄二、土屋育代、安藤一博、西尾克子、梅村浩三、  
石田祐一、山田耕司、度會将仁
- ・欠席者 地域自治区代表 原田知典  
中学校PTA代表 近藤祐司  
こども園保護者会代表 森井清、成瀬一  
地域自治区会長会議代表 樹神和昭

### ・委員会内容

1. 開会挨拶 委員長、教育長

### 2. 議事

事務局 : 議事に入ります。

(1) 現地視察を通じての感想について

委員長 : それでは各地区で1人ずつ感想を述べていただきたいと思います。

委員 : (岩村)

感想を見させていただくと、それぞれいろんな意見があり、なるほどと感じました。現実には子どもたちの間では、クラブ活動を3校合同の1チームで行い県大会

まで行くなど、子どもたちの世界では合同という抵抗感は無かったです。子どもたちは多くの友達と新しい環境を得て一つ一つ成長していくので、より良い環境を与えることが大切だと思いました。

委員：(山岡)

同じ恵南でもぜんぜん違うと感じました。今後、子どもたちが教育を受ける場を委員会で考えていかなければならないと感じました。今回の視察を基にメリット・デメリットを出していかなければいけないと思いました。

委員：(明智)

非常に合併前の郡や町の思いがあって学校ごとにカラーが強いので、この色で子どもが集まったときに、一つの色になれるのだろうかと思いました。未だに恵那に行くという表現をされますが、恵那に行くというと駅周辺と言うイメージですが、自分も恵那に住んでいるのに恵那に行くという表現は、郡や町の意識が強いと感じました。子どもの人数からして、1クラスみても西、東中との違いは感じませんでした。

委員：(串原)

学校それぞれの特色はあります。子どもたちも勉学に励んでいました。私を感じたのは通学の距離です。同じ地区の中でも、学校へ行くまでに結構時間をかけて行っている。統合して遠くのところから1時間以内で通うことが可能かどうかという心配をしました。部活動についても、種目は増えてきますが、バスの時間が長く部活の時間が短くなる。朝7時に出ている子が6時台になることは、子どもたちにとって負担がかかることではないかと心配しました。

委員：(上矢作)

5つの学校はどこも地域とのつながりが強く良いことだと思います。統合したときに、良いところが消えてしまわないような形で統合できたらと思います。

委員長：他に意見はありませんか。なければ次の議事に入ります。

(2) 再編において配慮すべき事項について

事務局より資料に基づき説明

委員長：事務局より説明がありました。質問等もあるかとは思いますが、グループ討議に入りたいと思います。

(3) グループ討議

テーマ 通学方法、通学時間について

委員長 : それでは、各地区でグループ討議の内容を発表してください。

委員 : (岩村)

厳しいかもしれないが、すべてスクールバスで行けると良い。

スクールバスになった場合、どこかにバス停を設けてそこに集合していくとなった場合、自転車置き場の設置が必要。

少ないところはワゴン車での通学も良いのではないか。

時間は1時間以内。

明知鉄道で通学する場合、無料で対応する。

子どもだけで今までと同じように通学が出来る方法とする。

委員 : (山岡)

候補地が決まらないと議論が出来ない。

駅から出来るだけ近い場所。

明知鉄道は通学にふさわしいのか。高校生が乗るのに単線でカバーできるのか。

スクールバスが何台必要となるか。

スクールバスなら中で時間が取れる。

一番遠い生徒に何が出来るのか。中学から下宿などを検討する必要があるのか。

委員 : (明智)

悪天候時の対応をどうすべきか。(雪、凍結、明知鉄道の運休。自転車事故。)

遠い生徒はスクールバスで対応。(大型バス)

自主運行バスもいつまであるかわからない。その点も考慮。

歩道の整備が必要。

通学時間を短縮するには、路線区間を整備する。場合によっては新たな道路の整備。

既存施設利用であれば、駅から近い明智の中学校が良いのではないか。

委員 : (串原)

串原地域を一つの学校に集めようとしたとき、通学時間に個々で差が出る。

スクールバス利用が良い。人数が少ないのでワゴン車を利用し、現在の4コースすべてスクールバスとし、ストレートに通学すれば、40分以内で学校まで行ける。

明知鉄道の利用は時間にロスがあり、考えられない。

中沢地区は東方地区と別のスクールバスが必要。

部活動の時間をしっかり取れるように通学時間を配慮。

エリア A, B, C 共に串原は国道 257 線及び県道豊田明智線の利用が考えられる。  
徒歩も通学には必要。

徒歩 60 分。バス 60 分。同じ時間でも差がある。

ハイエース 2 台で家まで送迎。

通学路の雪対策。

委員：(上矢作)

通学に体力づくりをかねて徒歩の時間を確保。

スクールバスであった場合、離れた場所にステーションを設けて徒歩とし、生徒間の交流を図る。

新設する場合は、明知鉄道から 1.0km 以内が望ましい。

冬季の通学における安全対策。緊急時の通学方法。

各地域の意見集約が必要。

委員：通学時間と通学方法については、優先すべきは子ども達の安全と健康ですので、出来るだけ負担がかからない方法を考えてほしいと思います。一方で徒歩の時間も大切だと言われました。山岡中学校は自力登校を大切にしてきたわけですが、今後も続けたいと思います。

委員：資料を見させていただきましたが、通学距離、時間が気になりました。子どもの安心・安全が大事ですので、課題はやはり通学時間の短縮であると思いました。いろんな意見を出し合うことによって、良い方法があると思いました。

委員：案の段階で上矢作や串原に色が無いのは寂しい気がしました。恵南全体で考えて行きたいと思いました。

委員：スクールバスを検討するのに財政的な面も考える必要があると思っています。

委員：これからの教育を考える際に必要なことは、教える先生方の集団により、年齢の違う人達でコンビを組むことで、教育を与える力量が磨かれるという視点が教育論理では必要であります。学校再編について、小学校期と中学校期の再編は分けて考える必要があります。恵南の中学校を見させてもらいましたが、私は一学級の学校はあまりよくないと思っています。それは、今を見てそう思うわけで、これを 5 年とか延ばしたら、生徒たちは置いていかれる感じがするので、結論を先送りするべきではないと思っています。出すべき結論を論議するのは大切ですし、今ある問題はいま解決するという姿勢が生徒に対する責任であります。生徒数の推移を見ますと、平成 32 年までは 400 人程度で推移しますが、その後 50 人単位で減っていく。当面これで進めて、問題が発生したらその時に行えば良いという性格のものではないと思います。やるべきときには、10 年後も通用する形を念頭

に置いて地域にメッセージを出すべきです。結論的に言えば、2校案でなく1校案で進めるという前年度の議論はそういう視点も加味されたものと思っています。私も4つの中学校が統廃合した経験者です。地域の方がなじめるかという話がありました。違ったものが一緒にならなければ、違った意見を尊重するというものが生まれません。違った者が一緒にいることによって双方が磨かれるということが中学校期の成長にはすごく大切であると思います。400人となると先生もたくさんいますので、いろんな先生に合えるということが私の場合は良かったです。多くの出会いが生徒に補償されたことは、統廃合によって生まれたものと思っています。私は山岡と同じくらいの学校にいましたが、冬場は雪が多く降りますので、冬場は寮生活でした。その人たちは、学力も優秀でよく勉強されていました。そういう条件ができたのも統廃合の結果であり、統廃合には賛成であると私は思います。

委員長：皆さんありがとうございました。いろいろご意見を頂きましたが、本日はこれで終了したいと思います。次回は9月9日水曜日19時30分から岩村振興事務所でを行います。

最後に副委員長挨拶をお願いします。

副委員長：グループ討議の結果を、各自治区の皆様にいろいろな課題等を含めて発表していただきました。諮問に対する方向付けも少し見えてきたのではないかと感じました。特に、皆様方の多くからスクールバスという意見がありました。財政面からもスクールバスについて詰めていかなければならないというのが大きな課題ではないかと思っています。そのことによって、新設候補地についてや既存施設利用についての方向性も決まってくるのではないかと思っています。通学の時間については、1時間以内という意見もありましたので、その辺をいかにして1時間以内に設定できるように努力していくことが今後の課題にもなると感じています。これからの会議については、皆様方の意見をまとめながら議論し、地域にもどって検討する中で早い時期に結論を出していきたいと思っております。これにて本日の会議を終了します。

21:18 終了